

議会の新しい構成決まる

議長に桜井氏、副議長は竹村氏

議会選出監査委員には、西氏と平川氏

5月15日に開催された改選後初の議会(臨時会)において、投票による選挙の結果、議長に桜井直人議員(市民クラブ藤沢)、副議長に竹村雅夫議員(民主クラブ)を新たに選任しました。

5月22日に開催された臨時会(第2回)において、議会選出の監査委員に西智議員(市民クラブ藤沢)と平川和美議員(藤沢市公明党)を選任することに同意しました。また、総務・厚生環境・建設経済・子ども文教・補正予算の5常任委員会、行政改革等・災害対策等・藤沢都心部再生・公共施設再整備の3特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会の委員を選任しました。



本会議風景(起立採決)

常任・特別委員会委員等も選任



委員会風景

議長	桜井直人	副議長	竹村雅夫	監査委員	西智・平川和美
----	------	-----	------	------	---------

常任委員会

市の仕事全体を、総務・厚生環境・建設経済・子ども文教の4つと補正予算に分け、関係する議案や請願・陳情などを審査します。

総務	厚生環境	建設経済	子ども文教	補正予算
市政全体の計画や調整、行財政運営、広報活動、消防・災害対策など	福祉・保健・医療対策、ごみの収集と処理、環境対策など	産業の振興、公園・緑地・下水道・道路の整備と保全、区画整理など	義務教育の充実、次世代育成対策、生涯学習・スポーツの振興など	補正予算に関すること
◎平川和美 ○有柳町井安佐塚	◎松長由美 ○神尾江里 土屋俊則 原田建樹 佐賀麻央 石川誠志 西川みきこ 今津英美	◎大矢徹 ○友田宗也 味村耕太郎 栗原貴司 山田政哉 柳田あゆ 松尾宏彦 甘粕和彦	◎石井世悟 ○東木久代 加藤彩野 西藤恵子 小池一行 須田健太郎 森井巳希 吉松雅夫 竹村雅夫	◎栗原貴司 ○神尾江里 味村耕太郎 原田建樹 佐賀和正 有賀正輝 町田輝一 須田野久 佐野久代 東木久代

特別委員会

特に重要な問題や、2つ以上の常任委員会に関連する問題を集中的に審査するため、必要に応じて設置します。

行政改革等	災害対策等	藤沢都心部再生・公共施設再整備
市民ニーズに対応した質の高い行政サービスの提供、簡素で効率的かつ民主的な市政の実現	災害等から市民の生命、身体及び財産を保護、災害の拡大防止と被害の軽減	藤沢都心部における都市機能の強化・再構築及び公共施設の機能更新・再整備など
◎東木久代 ○有柳桜栗山柳須森吉平大	◎井上裕介 ○佐野彩野 加藤世悟 石井智子 西池恵子 小町田景輔 安田川誠志 西尾宏之 松尾江里 神村雅夫	◎安藤好幸 ○土屋俊則 味村耕太郎 原田建樹 佐賀和也 友田美絵 松長由美 石川麻央 今井みきこ 谷津英美 甘粕和彦 塚本昌紀

議会運営委員会

議会が公正・円滑に運営されるように協議するとともに、議会に関係する議案や請願・陳情などを審査します。

◎山口政哉 柳沢潤次 松長由美 谷津英美	○安藤好幸 友田宗也 石川麻央 塚本昌紀
-------------------------------	-------------------------------

広報広聴委員会

「ふじさわ市議会だより」の編集や議会報告会等の開催に関することなどを審査します。

◎西加小柳吉	藤池田松	智野子ゆ希	○谷津英美 石井上健太郎 森井みきこ
--------	------	-------	--------------------------


(◎は委員長、○は副委員長)
※議長は、今期建設経済常任委員会委員を辞任。


新しい市民の代表です


4月23日に行われた藤沢市議会議員選挙において、次の36人が選出されました。


写真	議席番号	ふりがな
	氏名	
	所属会派名	
住所または連絡所*		当選回数


*住所または連絡所は字までの記載

	1	つちや としのり 土屋 俊則
	日本共産党 藤沢市議会議員団	
	西富	4

	2	みむら こうたろう 味村 耕太郎
	日本共産党 藤沢市議会議員団	
	善行団地	3


	3	かとう あやの 加藤 彩野
	日本共産党 藤沢市議会議員団	
	鶴沼海岸	1

	4	やなぎさわ じゅんじ 柳沢 潤次
	日本共産党 藤沢市議会議員団	
	長後	9

	5	はらだ たける 原田 建
	アクティブ藤沢	
	片瀬	4

	6	いしい せいご 石井 世悟
	市民クラブ藤沢	
	本藤沢	2

	7	にし さとし 西 智
	市民クラブ藤沢	
	弥勒寺	3

	8	さくらい なおと 桜井 直人
	市民クラブ藤沢	
	長後	5

	9	さが わき 佐賀 和樹
	市民クラブ藤沢	
	鶴沼海岸	7

	10	ともだ そうや 友田 宗也
	Visionふじさわ	
	大庭	4

	11	ありが まさよし 有賀 正義
	Visionふじさわ	
	辻堂東海岸	5

	12	こいけ けいこ 小池 恵子
	Visionふじさわ	
	柄沢	1

	13	まちだ てるよし 町田 輝佳
	市民クラブ藤沢	
	鶴沼桜が岡	1

	14	くりはら たかし 栗原 貴司
	市民クラブ藤沢	
	鶴沼橋	2

	15	まつなが ゆみえ 松長 由美絵
	市民クラブ藤沢	
	辻堂	2

	16	いしかわ まお 石川 麻央
	市民クラブ藤沢	
	藤沢	1

	17	やまぐち まさや 山口 政哉
	市民クラブ藤沢	
	片瀬海岸	3

	18	いのうえ ゆすけ 井上 裕介
	市民クラブ藤沢	
	川名	5

	19	やなぎだ あゆ 柳田 あゆ
	民主クラブ	
	片瀬山	1


	20	やすだ けいすけ 安田 景輔
	民主クラブ	
	渡内	1

	21	すだ かずゆき 須田 一行
	民主クラブ	
	渡内	1

	22	もり けんたろう 森井 健太郎
	We 藤沢	
	片瀬海岸	1

	23	よしまつ みき 吉松 巳希
	湘南維新の会	
	辻堂	1

	24	にしかわ せいじ 西川 誠志
	湘南維新の会	
	本町	1

	25	まつお ひろゆき 松尾 宏之
	藤沢市公明党	
	善行団地	1


	26	いまい みきこ 今井 みきこ
	藤沢市公明党	
	片瀬	1


	27	ひらかわ かずみ 平川 和美
	藤沢市公明党	
	亀井野	3


	28	かみお えり 神尾 江里
	民主クラブ	
	辻堂西海岸	2


	29	たにつ えみ 谷津 英美
	民主クラブ	
	鶴沼石上	2

	30	あんどう よしゆき 安藤 好幸
	民主クラブ	
	土棚	2


	31	たけむら まさお 竹村 雅夫
	民主クラブ	
	藤沢	5

	32	おおや とおる 大矢 徹
	民主クラブ	
	鶴沼藤が谷	4

	33	あまかす かずひこ 甘粕 和彦
	自由民主無所属の会	
	藤が岡	2

	34	さの ひろし 佐野 洋
	自由民主無所属の会	
	瀬郷	2

	35	ひがしき ひさよ 東木 久代
	藤沢市公明党	
	石川	4

	36	つかもと まさき 塚本 昌紀
	藤沢市公明党	
	大庭	6

プラスチックごみ対策

便利さの享受から使う責任の時代へ
環境負荷をかけない取組を



谷津 英美
民主クラブ

質問 八部公園テニスコートでは、環境に配慮されたバイオプラスチック人工芝が導入されたが、そのプラスチックが側溝から流出しないために、どのような処置をしているか聞きたい。

答弁 側溝に金属製フィルターを設置し、下水への流出を低減させている。八部公園以外のテニスコートはフィルターを設置していないが、小まめに清掃を行い、排出抑制に努めている。

質問 プラスチックの便利さを享受することから、使う責任が問われる時代ではないか。市としてプラスチックごみの排出抑制に対する取組や考えを聞きたい。

答弁 不必要なプラスチックを排出抑制する観点から、使う責任が問われる時代ではないか。市としてプラスチックごみの排出抑制に対する取組や考えを聞きたい。



プラスチックは使う責任の時代へ＝八部公園テニスコート

質問 生涯学習特別貢献表彰について、表彰選考の団体は、構成員の半数が市内在住、在学、在勤が要件とのことだが、その理由を聞きたい。

答弁 生涯学習特別貢献表彰について、表彰選考の団体は、構成員の半数が市内在住、在学、在勤が要件とのことだが、その理由を聞きたい。

質問 生涯学習特別貢献表彰について、表彰選考の団体は、構成員の半数が市内在住、在学、在勤が要件とのことだが、その理由を聞きたい。

教育委員会の見解を聞いた
教育委員会としては、同じ活動分野において、複数回表彰することは慎重に判断したいと考えているが、長年にわたり教育行政に尽力している市民に対して、今後も敬意と感謝の意を機を捉えて表していく。

少年の森の再整備
地元の声の反映を

再整備の方針決定に
当たって、地元の声はどのよう

再整備の方針決定に
当たって、地元の声はどのよう

再整備の方針決定に
当たって、地元の声はどのよう

高齢者の外出支援
シルバークロス創設を

高齢者が外出しやすい
環境づくりの必要性について

高齢者が外出しやすい
環境づくりの必要性について

高齢者が外出しやすい
環境づくりの必要性について

高齢者が外出しやすい
環境づくりの必要性について

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

指定収集ごみ袋
レジ袋導入の推進を

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ



友田 宗也
Vision
ふじさわ

ペット同伴避難所の開設
災害時のペット対応
大学等と連携する取組を

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

大規模災害時にペットを理由に避難をためらう人がいる。ペット同伴避難の必要性について、広いスペース・施設を持つ

(※) リスキリング…業務内容の変化や今後新たに発生する業務で必要とされる知識やスキルを習得するための学び直しなど、職業能力を再開発・再教育すること。

一般質問

主な質問と答弁

ビニールハウスの設置

基準や運用の柔軟な対応

徹底した現場主義を



代久木 久代
市議員
東藤 公明

質問 農業関係者は天候・災害リスクや鳥獣被害に加えて重油高騰、法律面での課題を抱えている。特にビニールハウスの設置基準は農作物の栽培に限定されているため、出荷調整場所や重機・資材置き場、炎天下や雨風時に避難する場所もなく、困難な環境で仕事に就いている現状がある。法解釈や運用については、自治体が独自に基準を制定するなど、徹底した現場主義の視点を持つべきと考え、市の考えを聞きたい。

答弁 農業用ビニールハウスの取扱いは神奈川県建築行政連絡協議会で定められ、

地域の縁側事業 市民の家の活用を



小池 恵子
市議員
Vision
ふじ

質問 本市農業の維持・発展のため、新規就農者の定着促進を図れるよう、安全性を確保しながら、地域の状況に合わせて取扱要領の運用見直しを関係課と連携し、前向きに検討していきたい。

答弁 地域の縁側事業の現状と課題について聞きたい。

答弁 地域の縁側は、住民利用のつながらりや支えあいなどを大切にしながら、人の和を広げ、誰もが生き生きと健康やかに暮らせるまちづくりの一貫として36か所が開設され、様々な団体の活動がなされている。昨年度の利用者は約4万6千人で、その6割以上が高齢者である。課題としては、認知度が低いことや活動の担い手の不足がある。



江の島周辺のトンボ口現象

自然の観光資源 江の島周辺のトンボ口 ニューツーリズム造成



山口 政哉
市議員
山市民クラブ
藤沢

質問 江の島周辺で大きく潮が引くと陸続きになるトンボ口現象について、観光資源としての可能性や活用

答弁 高低差のある護岸に仮設階段を設置する実証実験や、トンボ口の説明看板新設、ホームページ・SNS等によるPRを行った。今後は、新江ノ島水族館との協働や、江島神社と江の島・藤沢ガイドクラブの協力のもと、ニューツーリズム(※)の造成に取り組んでいく。

質問 着地型観光を推進する本市では、体験型コンテンツが非常に有用だが、法規制がボトルネックとなっていると考える。

答弁 この課題をブレイクスルーするための特区制度の活用について聞きたい。

答弁 地域のさらなる活性化を目指し、令和4年7月

質問 湘南藤沢活性化コンソーシアムが発足した。その中で、地域の実情に合った手法について研究を進め、厳しい観光地間競争を勝ち抜けるように取り組んでいきたいと聞きたい。

答弁 まずはより多くの寄附者に返礼品等の情報を届けることが重要であり、掲載するポータルサイトの数を増やす取組を行っている。

質問 孤独死防止や見守り等での支援を行っているほか、災害時の支援・援助につなげる等の対応を図っている。また、終活ノート作成や人生会議の普及啓発など、終活支援も進めている。

答弁 令和6年4月に孤独・孤立対策推進法が施行となるため、これまでの取組を充実し、孤独・孤立に悩む人を誰一人取り残さない社会の実現に向け、取り組む。

質問 人生の最期を安心して過ごす仕組みが必要と考えるが、終活支援策について聞きたい。

答弁 現在、終活ノート配布等の周知啓発活動やひとり暮らし高齢者の把握に努めているが、本人が健康なうちに意思決定を支援でき

質問 医療的ケアに対応したグループホームの設置に向けて取り組むべきと考え、市の見解を聞きたい。

答弁 市内の重度障がい者を受け入れるグループホームでは、医療的ケアのある人が入居していないため、制度趣旨の徹底を図り、適切な運用を促進することも、県・市の補助制度により継続的に支援していきたく聞きたい。

質問 50年先の藤沢と市民の生活を見据え、従来の分野、手法に捉われず、先導的な

質問 ビル風について、本市では総合設計制度に環境による影響調査を義務付けていないのか。また、辻堂駅南口に建設予定の高層ビルによるビル風に対する影響調査は行わないのか、市の見解を聞きたい。

答弁 現時点では環境による影響調査を義務付けていないが、今後、影響調査における意義・効果等を検証し、許可基準の見直しの

質問 自転車利用者の利便性向上のため、辻堂駅南口に建設予定の高層ビルエレベーターを、一般通行者も利用可能となるよう事業者が任意で影響調査を行っており、植栽の設置や建物の配置等により、環境に一定の配慮がなされた計画となっている。

答弁 必要性について、検討していきたく聞きたい。

質問 新たな計画されている高層ビルに関しては、事業者が任意で影響調査を行っており、植栽の設置や建物の配置等により、環境に一定の配慮がなされた計画となっている。

質問 環境影響調査の必要性の検討を

答弁 環境影響調査は行わないのか、市の見解を聞きたい。

答弁 現時点では環境による影響調査を義務付けていないが、今後、影響調査における意義・効果等を検証し、許可基準の見直しの

民の家を、地域の縁側として活用することについて、市の見解を聞きたい。

答弁 また、世代を超えた市民が集う地域の縁側を、今後増やしていくことに関する市の考えを聞きたい。

質問 新たに活動団体を募集する際には、募集要項に利用可能な市民の家を掲載しており、今後も市民の家の有効活用を図っていく。

答弁 また、地域の縁側が、あらゆる年代が気軽に集う場として利用できるよう、縁側で実施されている事業の好事例を共有する等、活動の活性化に取り組んでいく。

質問 ふるさと納税強化寄附金獲得の取組について聞きたい。

答弁 本市はふるさと納税の取組を増やす取組を行っている。

質問 本市はふるさと納税の取組を増やす取組を行っている。

質問 市営プール及び湘南台文化センターの、小学生以下の入場料を無償化する場の減収額を聞きたい。

答弁 入場料の令和4年度実績で、小中学生合わせて各プール合計が約474万円、湘南台文化センターが622万円となる。

質問 子育て世帯の経済的負担軽減のため、市営プールと湘南台文化センターの小学生以下の入場料は、付添いの保護者分と合わせて無償化すべきと考えるが、市の見解を聞きたい。

答弁 本市ではこれまで、無料で子どもたちが遊び活動できる場所として、地

質問 子育て支援事業中での優先順位と、その財源も含めた議論が必要と聞きたい。

答弁 子どもたちが楽しく過ごせる環境づくりと支援策について、今後、本市の新たなことも施策の検討を進める中で議論していく。

質問 中学校給食の手法
自校式給食へ切替を

答弁 本市の中学校給食は、保護者代表等による検討の結果、自校式給食に課題が多く、弁当持参に多くの二

質問 中学校のデリバリー給食について、注文可能数や上限はあるのか聞きたい。

答弁 実績と今後の予測を基に、契約上の喫食率の上限を32%に設定している。

質問 食物アレルギーのある生徒に対し、どのように対応しているのか聞きたい。

答弁 献立表にアレルギーを表示するとともに、アレルギー

質問 小学校の自校式給食の良さを認識しているのであれば、中学校まで拡大すべきと考えるが、教育委員会の見解を聞きたい。

答弁 本市の中学校給食は、保護者代表等による検討の結果、自校式給食に課題が多く、弁当持参に多くの二

質問 小学校の自校式給食の良さを認識しているのであれば、中学校まで拡大すべきと考えるが、教育委員会の見解を聞きたい。

答弁 本市の中学校給食は、保護者代表等による検討の結果、自校式給食に課題が多く、弁当持参に多くの二



無償化で子育て世帯の負担軽減を=湘南台文化センター

(※) ニューツーリズム…従来の物見遊山の観光旅行に対して、テーマ性が強く、体験型・交流型の要素を取り入れた新しい形態の旅行。

常任委員会・特別委員会の動き

市立学校の適正規模・適正配置 過大規模校解消に向け通学区区域を見直し より良い教育環境を整える 子ども文教

子ども文教常任委員会は、6月15日に開催され、議案1件、陳情1件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①藤沢市立学校適正規模・適正配置第1期実施計画の策定(素案) ②鶴沼中学校改築事業に係る基本設計の進捗状況③今後のことと施策等―以上3件について報告を受けた。

○藤沢市立学校適正規模・適正配置第1期実施計画の策定について(素案)

教育委員会では、より良い教育環境を整えるため、市立学校の適正規模・適正配置に向けた取組を進めている。藤沢市立学校適正規模・適正配置に関する基本方針に基づき、今回、取組の具体的な手法と学校名を明記した第1期実施計画(素案)を作成した。

本年4月公表の将来人口推計を用いた予測では、令和2年時点で、小学校は、鶴沼・六会・辻堂・鶴沼・秋葉台・八松小学校の6校が過大規模校(※1)となる。中学校は、鶴沼中学校



通学距離や通学路の安全性等を考慮し、通学区の見直しを検討する

が、大規模校となり、それ以外の学校は適正規模校、あるいは小規模校となる。

基本方針において、本市立学校では、12学級以上24学級以下を適正規模としており、第1期実施計画では、過大規模校6校のうち、鶴沼・六会・辻堂・鶴沼・八松小学校を取組対象校とする。秋葉台小学校については、今後展開される複数のまちづくり事業の進捗等を見ながら、第2期実施計画以降で対応を検討する。

今後は、7月から素案に対するパブリックコメントを実施するほか、地域説明会を開催し、6年2月市議会定例会で最終案を報告した後、3月の教育委員会定例会で第1期実施計画を策定する。

この実施計画では、過大規模校6校のうち、鶴沼・六会・辻堂・鶴沼・八松小学校を取組対象校とする。秋葉台小学校については、今後展開される複数のまちづくり事業の進捗等を見ながら、第2期実施計画以降で対応を検討する。

今後は、7月から素案に対するパブリックコメントを実施するほか、地域説明会を開催し、6年2月市議会定例会で最終案を報告した後、3月の教育委員会定例会で第1期実施計画を策定する。

村岡地区のまちづくり 早期の都市拠点形成に向け 進捗状況を報告 建設経済

建設経済常任委員会は、6月13日に開催され、議案3件、陳情1件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

また、①村岡地区のまちづくりの取組②藤沢市立地適正化計画の改定―以上2件について報告を受けた。

○村岡地区のまちづくりの取組について

村岡地区のまちづくりは、令和2年度に、新駅設置及び周辺まちづくりを実施するための協定等を締結し、実現化に向けて取組を進めている。

神奈川県、鎌倉市との取組では、新駅設置に関して、新駅及び自由通路の詳細設計を進めており、今後、施

工計画や事業費等が明らかになる。

村岡・深沢地区土地区画整理事業は、事業主体であるUR都市機構が今年3月に国土交通省へ認可申請を行い、事業計画に関する説明会や縦覧等、5年度内の事業認可に向け、手続きを進めている。

本市における主な取組としては、村岡新駅周辺地区まちづくり方針で位置づけられた将来地区像「尖る創造と広がる創造を生み出す街」の実現に向け、4年度からガイドラインの検討を進めている。また、ガイドラインで定める指針や規制・誘導のルール等に加えて、新たなまちづくりにふさわしい、まちづくりコンセプトブックの作成を目指す。

会定例会で最終案を報告した後、3月の教育委員会定例会で第1期実施計画を策定する。

この実施計画では、過大規模校6校のうち、鶴沼・六会・辻堂・鶴沼・八松小学校を取組対象校とする。秋葉台小学校については、今後展開される複数のまちづくり事業の進捗等を見ながら、第2期実施計画以降で対応を検討する。

今後は、7月から素案に対するパブリックコメントを実施するほか、地域説明会を開催し、6年2月市議会定例会で最終案を報告した後、3月の教育委員会定例会で第1期実施計画を策定する。

4月以降、保護者や地域住民との意見交換による合意形成を図りながら、通学区の見直しを行うべく、

令和4年度は、(仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設整備事業基本構想を策定し、基本構想を踏まえた基本・実施設計業務を進めてきた。

これまでの主な取組として、片瀬地区の住民や関係団体への説明会を開催し、基準水位(※2)や整備事業概要などの説明を行い、参加者や地元町内会からの意見を伺うとともに、資料チラシの配布や回覧による住民への周知を行った。本施設は、屋上階の避難

村岡新駅周辺の将来に向けた交通環境の改善として、現在の移動実態や課題等の把握を行った。今後は、把握した状況を踏まえ、より快適に移動できる交通環境等について検討する。

また、藤沢市土地開発公社用地で、将来買戻す予定となっている市有地について、官民連携による研究開発拠点としての活用を目指し、検討を行っている。村岡新駅南口通り線につ

いては、街路事業の認可手続を進めている。

村岡地区の土地区画整理事業では、説明会や地権者の調整等を、UR都市機構と連携して進めている。

この新駅設置及び周辺まちづくりは、地域の利便性・活性化に寄与することを目的とした事業であり、県、鎌倉市と連携し、早期の都市拠点形成に向け、取り組んでいく。

また、5年度に本市が県に支出する国民健康保険事業費納付金については、被保険者の高齢化、医療の高度化による保険給付費の増加などの理由により、被保険者1人当たり約1万3千円の大増額となっている。このことにより、保険料については納付金の増額分と同程度の引き上げを検討する必要があるが、大幅な引き上げは被保険者の生活に大きな影響を及ぼすことから、5年度の国民健康保険料率については、一般会計からの法定外繰入金増額、基金からの繰入金や繰越金を活用することで、1人当たりの保険料の引き上げ幅を約6千円まで抑制を図り決定した。なお、料率については、5月18日に開催した国民健康保険運営協議会において承認され、5月26日付けで告示をした。

本市の国民健康保険財政は、国民健康保険事業費納付金が年々増加し、被保険者数は年々減少することが見込まれており、さらに厳しくなることが想定されていることから、来年度以降においても保険料率の引き上げを検討せざるを得ない状況である。

市としては、将来にわたって健全な保険制度を維持するため、引き続き、保険料の適正な設定に努めている。



藤沢市消防局の説明に聞き入る市議会議員=令和5年度水防訓練

片瀬海岸3丁目津波避難施設
想定避難者約730人を収容
迅速に最上階に避難可能な高さ

総務常任委員会は、6月16日に開催され、議案1件、陳情1件を審査した。その結果、議案は可決すべきもの、陳情は不採択とすべきものと決定した。

また、①公共料金の見直し(改定案報告) ②片瀬海岸3丁目における津波避難施設の整備―以上2件について報告を受けた。

本市では、人命被害を限りなく減らすことを目標に掲げ、全ての市民の安全安心の確保を図る観点から、津波からの避難が困難な地域住民の迅速かつ確実な避難の実現と不安解消を喫緊

このことにより、保険料については納付金の増額分と同程度の引き上げを検討する必要があるが、大幅な引き上げは被保険者の生活に大きな影響を及ぼすことから、5年度の国民健康保険料率については、一般会計からの法定外繰入金増額、基金からの繰入金や繰越金を活用することで、1人当たりの保険料の引き上げ幅を約6千円まで抑制を図り決定した。なお、料率については、5月18日に開催した国民健康保険運営協議会において承認され、5月26日付けで告示をした。

結果、議案は可決すべきものと決定した。

災害対策等特別委員会は、5月26日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された、令和5年度藤沢市水防訓練を視察した。

今後については、5年6月以降に関係団体及び想定される本施設の利用者へ丁寧な説明を行うとともに、

令和4年度は、(仮称)片瀬海岸3丁目9番先津波避難施設整備事業基本構想を策定し、基本構想を踏まえた基本・実施設計業務を進めてきた。

これまでの主な取組として、片瀬地区の住民や関係団体への説明会を開催し、基準水位(※2)や整備事業概要などの説明を行い、参加者や地元町内会からの意見を伺うとともに、資料チラシの配布や回覧による住民への周知を行った。本施設は、屋上階の避難

床の高さを神奈川県が公表している基準水位に加え、漂流物などの影響も考慮し、更に3・6メートルの緩衝空間を設けてかさ上げをした標高9・4メートル、地盤高7・05メートルにする。これにより、想定する避難者数約730人全員を収容できる面積を確保し、全員が迅速に最大の高さに避難が可能となる。

主な設備等については、多様な方々の避難に対応できるように階段とスロープを併設し、また、中間階には災害時に必要な備蓄資材を保管できる倉庫を設ける。なお、概算工事費は、約5億円を見込んでいる。

結果、議案は可決すべきものと決定した。

災害対策等特別委員会は、5月26日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された、令和5年度藤沢市水防訓練を視察した。

結果、議案は可決すべきものと決定した。

災害対策等特別委員会は、5月26日に開催され、藤沢市消防防災訓練センターにおいて実施された、令和5年度藤沢市水防訓練を視察した。



多様な方々に対応した施設に=津波避難施設イメージ

(※1) 過大規模校…本市立学校では、過大規模校を31学級以上、大規模校を25学級以上30学級以下、小規模校を11学級以下と定めている。
(※2) 基準水位…法に基づく水位で、津波発生時における避難施設の避難上有効な高さ等の基準となる水位。

議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対
 △：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否							
			市民ク	民主ク	公明党	共産党	Vis	維新	自民無	アクテ
市長提出										
1	専決処分の承認について(令和5年度藤沢市一般会計補正予算(第1号))	承認 5.5.15	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分の承認について(藤沢市一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例)	承認 5.5.15	○	○	○	○	○	○	○	○
3	工事請負契約の変更契約の締結について(弁天橋改修工事(その1))	可決 5.5.22	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和5年度藤沢市一般会計補正予算(第2号)	可決 5.5.22	○	○	○	○	○	○	○	○
5	監査委員の選任について	同意 5.5.22	○ ^{※1}	○	○	○	○	○	○	○
6	監査委員の選任について	同意 5.5.22	○	○ ^{※2}	○	○	○	○	○	○
7	工事請負契約の締結について(弁天橋改修工事(その2))	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
8	工事請負契約の締結について(藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業)	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
9	工事請負契約の締結について(吉野町公園整備工事)	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○ ^{※3}	○	○
10	工事請負契約の締結について(市長後住宅4、5号棟・倉庫及び集会所外壁等改修工事)	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
11	工事請負契約の締結について(高谷小学校校舎外壁等改修工事)	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
12	市道の認定について(鶴沼957号線ほか3路線)	可決 5.6.22	○	○	○	○	○	○	○	○
13	市道の廃止について(長後1503-1号線)	可決 5.6.22	○	○	○	○	○	○	○	○
14	藤沢市印鑑条例の一部改正について	可決 5.6.22	○	○	○	×	○	○	○	○
15	藤沢市都市公園条例の一部改正について	可決 5.6.22	○	○	○	○	○	○	○	○
16	藤沢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
17	藤沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
18	藤沢市小児医療費助成条例の一部改正について	可決 5.6.22	○	○	○	○	○	○	○	○
19	藤沢市火災予防条例の一部改正について	可決 5.6.12	○	○	○	○	○	○	○	○
20	令和5年度藤沢市一般会計補正予算(第3号)	可決 5.6.22	○	○	○	×	○	○	○	○
21	農業委員会委員の任命について	同意 5.6.28	○	○	○	○	○	○	○	○

番号	件名	結果 年月日	各会派の賛否							
			市民ク	民主ク	公明党	共産党	Vis	維新	自民無	アクテ
議員提出										
1	藤沢市行政改革等特別委員会の設置について	可決 5.5.22	○	○	○	○	○	○	○	○
2	藤沢市災害対策等特別委員会の設置について	可決 5.5.22	○	○	○	○	○	○	○	○
3	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会の設置について	可決 5.5.22	○	○	○	○	○	○	○	○
4	適格請求書等保存方式(インボイス制度)の実施延期を求める意見書について	否決 5.6.28	×	○	×	○	○	×	×	○
請願										
1	「防衛力強化」のための増税方針撤回を日本政府に求める意見書提出についての請願	不採択 5.6.22	△ ^{※4}	○	×	○	○	×	×	○
陳情										
2	子育て支援のため小学校給食の無償化を市に働きかけることを求める陳情	趣旨不承 5.6.15	×	×	×	○	×	×	-	-
3	村岡地区の区画整理事業にかかわる協定書に関して議会の議決が必要だったか否かの検証を求める陳情	趣旨不承 5.6.13	×	×	×	○	×	-	×	-

※1 除斥となった議員：西智
 ※2 除斥となった議員：平川和美
 ※3 除斥となった議員：佐野洋
 ※4 賛成した議員：西智
 反対した議員：石井世悟、佐賀和樹、町田輝佳、栗原貴司、松長由美絵、石川麻央、山口政哉、井上裕介

会派名	省略表示	所属議員			
市民クラブ藤沢(10)	市民ク	石井世悟 町田輝佳 山口政哉	西智 栗原貴司 井上裕介	桜井直人 松長由美絵	佐賀和樹 石川麻央
民主クラブ(8)	民主ク	柳田あゆ 谷津英美	安田景輔 安藤好幸	須田一行 竹村雅夫	神尾江里 大矢 徹
藤沢市公明党(5)	公明党	松尾宏之 塚本昌紀	今井みきこ	平川和美	東木久代
日本共産党藤沢市議会議員団(4)	共産党	土屋俊則	味村耕太郎	加藤彩野	柳沢潤次
Visionふじさわ(3)	Vis	友田宗也	有賀正義	小池恵子	
湘南維新の会(2)	維新	吉松日希	西川誠志		
自由民主無所属の会(2)	自民無	甘粕和彦	佐野 洋		
アクティブ藤沢(1)	アクテ	原田 建			
We藤沢(1)	We藤	森井健太郎			

※()内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。

なお、会議録は、図書館、文書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。5月臨時会及び6月定例会の会議録は8月下旬頃から閲覧できます。

また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

傍聴についてのお知らせ

閉会中に開催する諸会議及び9月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。本会議・常任委員会・特別委員会・陳情を審査する議会運営委員会はインターネット中継を行います。なお、日時等は変更になることがありますので、詳しい内容はホームページでご確認ください。

また、手話通訳及び要約速記を希望される方は、傍聴希望日の5日前(土日祝日除く)までに、本会議等の議場で行う会議において、難聴者用ヒアリンググループの使用を希望される方は、当日に、議会事務局へお申し込みください。

請願と陳情のご案内

9月定例会では、請願・陳情ともに8月29日(火)正午までに提出されたものを審査します。また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。

【問合せ】議会事務局議事課
 ☎0466-50-3566(直通)
 FAX0466-24-0123
 Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

閉会中に開催する諸会議

開催日	開催時刻	会議名
8月3日(木)	9:30	藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
29日(火)	15:30	議会運営委員会
30日(水)	9:30	行政改革等特別委員会

9月定例会

開催日	開催時刻	会議名
9月1日(金)	10:00	本会議(議案の説明など)
2日(土)	9:00	災害対策等特別委員会(総合防災訓練視察)
5日(火)	10:00	本会議(議案の審議など)
6日(水)	9:30	建設経済常任委員会
7日(木)	9:30	厚生環境常任委員会
8日(金)	9:30	子ども文教常任委員会
11日(月)	9:30	総務常任委員会
12日(火)	9:30	補正予算常任委員会
13日(水)	9:30	議会運営委員会

開催日	開催時刻	会議名
9月15日(金)	10:00	本会議(議決、一般質問など)
19日(火)	10:00	本会議(一般質問)
20日(水)	10:00	本会議(一般質問)
21日(木)	10:00	本会議(一般質問)
22日(金)	10:00	本会議(一般質問)
25日(月)	10:00	本会議(一般質問、決算の説明など)
27日(水)	10:00	本会議(決算の審議など)
28日(木)	9:30	決算特別委員会
29日(金)	9:30	決算特別委員会
10月2日(月)	9:30	決算特別委員会
3日(火)	9:30	決算特別委員会
4日(水)	9:30	決算特別委員会
5日(木)	9:30	決算特別委員会
10日(火)	10:00	本会議(決算特別委員会報告、議決など)
		本会議終了後 広報広聴委員会

※各本会議の日には、9:30から議会運営委員会が開催されます。